

【本丸】慶長6年(1601)の初めから本格的に建設が開始されました。青葉山段丘の海拔117mの平坦地に築かれた本丸は、東西約245m、南北約267mもの広さでした。平成9年(1997)から行われた発掘調査によって、築城期の石垣などが発見され注目を集めています。

1 詰門(つめのもん)

本丸の入口になる門。現在は宮城県農国神社の鳥居が建てられています。江戸時代には門の両脇に三重の櫓(東西脇櫓)が建てられていました。

2 北面石垣(ほくめんいしがき)

仙台城は、南は竜ノ口峡谷、東は広瀬川に面した断崖、西は青葉山の自然林に守られた天然の要害でした。そのため、石垣は主に北側に築かれました。平成9年からの調査で新たに時期の異なる2つの石垣が発見され、現存の石垣が、寛文8年(1668)の地震で崩れたあとに積み直されたものであることが明らかになりました。

3 長櫓(うしとらやぐら)

長=北東の方向に建てられた三重櫓。正保3年(1646)の地震で壊れてしまい、以後再建はされませんでした。

4 懸造(かけづくり)

本丸東側の崖にせりだすように建てられた書院造の眺望台で、城下を一望することができました。慶長14年(1609)には、政宗がここから、広瀬川をはさんで対岸の花壇で行われた足輕組の鉄砲つるべ打ちを見物しています。



5 翼櫓(たつみやぐら)

翼=南東の方向に建てられた三重櫓。この櫓も正保3年(1646)の地震で壊れ、再建されませんでした。

6 埋門(うずみもん)

本丸南側の門。西を向き、入口で二折させる構造になっていました。現在は仙台城址の駐車場入口になっており、かつては石垣も残っていました。

【二の丸】寛永15年(1638)、政宗の子二代藩主忠宗によって、本丸より49m低い平地に造営されました。規模は、東西約313m、南北約202mで、江戸時代を通じて、政治を行う場及び藩主の日常生活の場として機能しました。

7 大手門(おおももん)

江戸時代の仙台城の「顔」とも言うべき建物で、桃山建築の特長を生かした二階建、瓦葺の豪壮な建物でした。昭和20年(1945)の仙台空襲で全焼してしまい、今はその跡だけが残っています。

8 脇櫓(わきやぐら)

「隅櫓」とよく言われますが、実際は大手門の「脇櫓」で、一部二階造となっています。大手門同様、仙台空襲で焼けてしまいましたが、昭和40年(1965)に復元され、ありし日の仙台城の様子をしのべます。

9 詰ノ門(つめのもん)

二の丸の御殿部分への入口で、「表門」とも呼ばれました。瓦葺で棟の両端に鯨がのる堂々たる門でした。現在の東北大学構内、川内記念講堂前の広場の一角にあたります。

【三の丸】江戸時代の城下絵図には「蔵屋敷」「御米蔵」などと記され、年貢米などの収蔵施設として用いられていたが、政宗時代には、庭園や茶室をともなう屋敷があったことが分かっています。広さは東西約144m、南北約117mでした。昭和36年(1961)に仙台市博物館が建設され、今日にいらっています。

10 子ノ門(ねのもん)

現在博物館敷地内への入口となっている所に立っていた門。木造二階建・瓦葺の門で、現在も石垣が残っています。

11 堀(ほり)

三の丸は、堀と土塁とで堅固に囲まれていました。北側の堀は現在の五色沼です。明治23年(1890)頃から外国人がスケートで滑りはじめ、後にその指導を受けた学生が日本ではじめてフィギュアスケートをしました。沼の東側に「日本フィギュアスケート発祥の地」の碑があります。

12 堀(ほり)

東側の堀は現在の長沼です。正保の城下絵図から、南北の長さ約252m、深さが約4.5mあったことが分かります。



13 土塁(どるい)

三の丸を囲む土塁は、正保の城下絵図では「岸」や「土手」と記されています。長沼側の土塁は高さ約3.6mありました。

14 翼門(たつみもん)

三の丸南側の門。木造二階建・瓦葺で、昭和20年(1945)まで建物が残っていました。現在は礎石のみが見られます。

15 清水門(しみずもん)

翼門から沢ノ門に至る上り坂の途中にあった二階建の門で、そばに湧水があったことからこの名がついたようです。付近には野面積みの石垣が残っており、湧水のそばには「仙台藩御用酒発祥の地」の碑が立っています。



16 沢ノ門(さわのもん)

本丸と三の丸の間に設けられた沢曲輪と、その西側の中曲輪とを結ぶ所に建てられていた門。曲輪は、防備のために土塀などで囲んだ区域のことで、自然地形を利用しながら設けられました。

17 中ノ門(なかのもん)

大手門から本丸へ登る道の途中に設けられた門。二階建・瓦葺の建物で「翼ノ門」とも呼ばれていました。現在も東西両側に石垣が残っています。

18 中島池(なかじまいけ)

青葉山の湧水で、仙台城の重要な水源であった「御清水(おすすず)」などから供給される水をせき止めて作られた池で、正保の城下絵図では「ため池」となっています。第二次大戦後、二の丸跡が米軍キャンプとなった頃に埋め立てられ、現在その姿を見ることはできません。

表紙写真

(上) 平成12年6月撮影

(下) 奥州仙台城絵図 正保2・3年 (財) 齊藤報恩会蔵

発行 仙台市博物館
仙台市青葉区川内三の丸跡
TEL/022-225-3074

発行日 平成13年3月31日

R100

宮城県会館100の歴史館を特別にいます

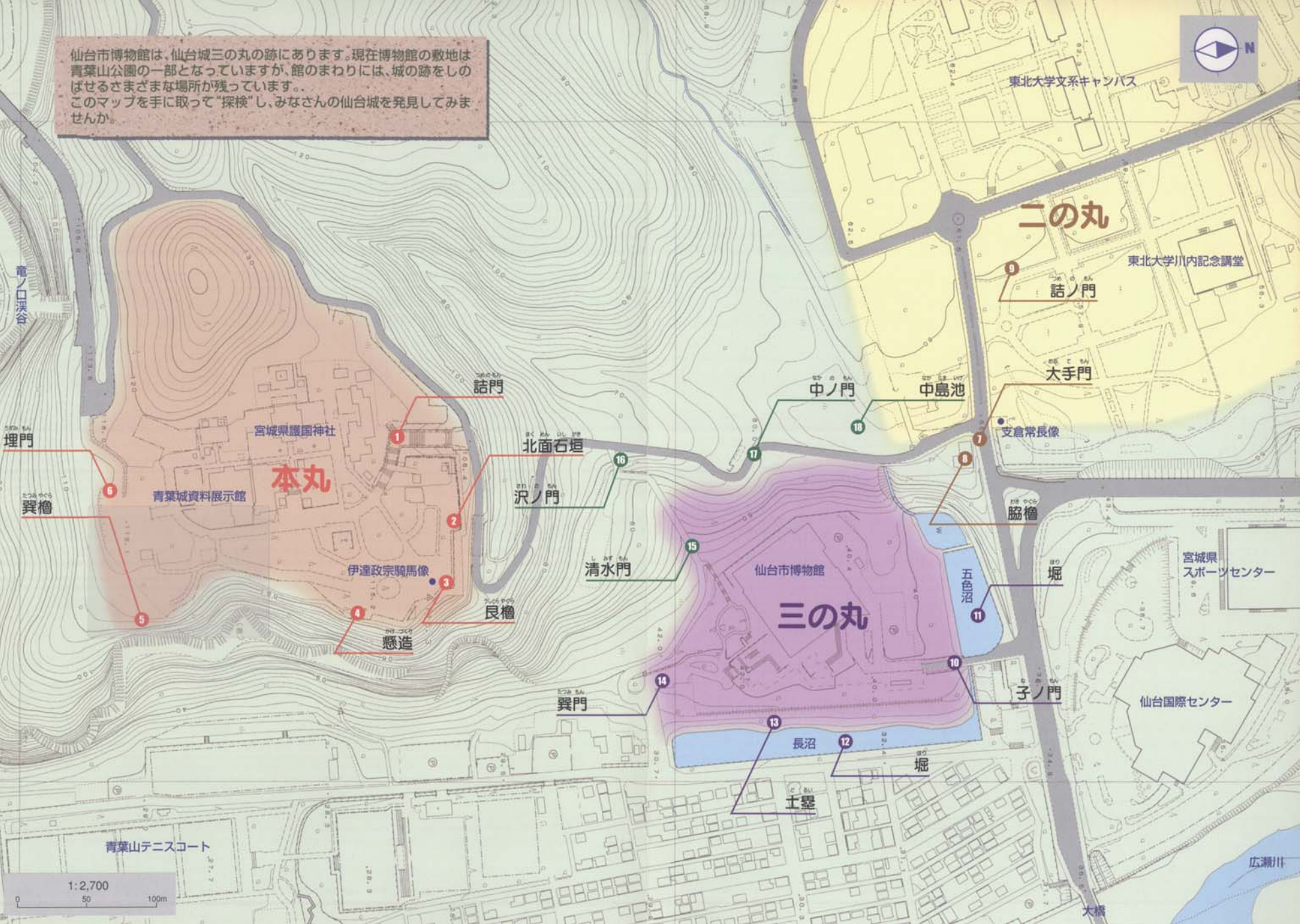
仙台城 探たんけん 検 マップ



仙台市博物館



仙台市博物館は、仙台城三の丸の跡にあります。現在博物館の敷地は青葉山公園の一部となっていますが、館のまわりには、城の跡をしのばせるさまざまな場所が残っています。
このマップを手にとって“探検”し、みなさんの仙台城を発見してみてください。



東北大学文系キャンパス

二の丸

東北大学川内記念講堂

詰ノ門

大手門

支倉常長像

脇櫓

宮城県スポーツセンター

仙台国際センター

広瀬川

大橋

宮城県護国神社

本丸

青葉城資料展示館

伊達政宗騎馬像

懸造

長櫓

青葉山テニスコート

1:2,700
0 50 100m

竜ノ口風谷

埋門

翼櫓

詰門

北面石垣

沢ノ門

清水門

翼門

三の丸

仙台市博物館

長沼

土塁

堀

子ノ門

五色沼

中ノ門

中島池

堀